



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2021年
8月27日
発行

第100回

「コロナ対策は総力戦に」

～それでもやっぱり菅首相～

初めに

前回、当レポート「日本株上昇を見込む3つの理由」ではコロナ対策がこれまでの短期戦志向から中期戦に軸足を置いたものに移行することを第一の理由として挙げました。これはコロナ対策の切り札と位置付けられていたワクチンも効果に期限があり万能ではないことが明らかになったためです。残念ですが、中期戦への切り替えはやむを得ない方針転換で現時点では最善の策と思います。

最近のコロナ対策

方針転換に伴い、コロナ対策に関する報道が足元、増加しています。例えば体育館など臨時大規模施設の臨時病院化。医師や看護師の確保が課題と記されており、(8/25日本経済新聞電子版) 所謂、野戦病院の様です。薬については塩野義製薬の在宅患者向け飲み薬が紹介されていました。2022年3月までに1000万人分の生産体制を整えるとのことです。(8/24日本経済新聞電子版) 治療薬についてはこの他、中外製薬やMSD製薬なども開発を進めている様です。これまで問題とされてきたコロナに対応しようとしなない病院の問題にもメスが入る模様です。厚生労働省と東京都が都内の全医療機関に連名で、新型コロナウイルス対応への協力を要請したと報じました。(8/23の日本経済新聞電子版) 都はコロナ医療に直接関わっていない病院や診療所からも医療措置を受けられる患者を増やす狙いでまさに総力戦。この先のコロナとの戦いをやり抜くとの菅首相の気概を感じるようです。こうした一連の新たな新型コロナウイルス対策が奏功すれば自然と日本株は上昇して、日経平均は3万円に到達と見ています。

自民党総裁選について

ここで近々行われると思われる、自民党総裁選についてコメントしておきます。先日の横浜市長選で、菅首相自身が推す候補が予想外の大敗となったことから、菅首相も危ないという観測が持ち上がりましたが、麻生副総理、二階幹事長など党内の有力者が相次いで首相支持を表明したため、首相に対する懸念は自然消滅した模様です。実際ここにきてワクチンの接種状況も他国と比べて遜色のないものとなっており死者数などもむしろ少ないと言われています。他国と比べて日本のコロナ対応は劣っているとは言えません。こうした点から菅首相の再選は間違いないと見ています。ただ首相の発信力については懸念を指摘されることもあります。これをカバーするためには発信力のある河野行政改革大臣や小泉環境大臣を官房長官に起用することも考えられるでしょう。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合があります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。